

研修会のご案内

年次大会終了後、高齢者分野・精神科分野の研修会を下記要領で開催いたします。
実践に結び付く研鑽の機会として、ぜひご参加ください。

***** 高齢者分野 *****

認知症治療としての地域づくり ～治療としての介護～ (定員 80名)

講師 岸川 雄介 先生 (ミサトピア小倉病院)

認知症は生活場面における症状(症状群)である。生活場面とは地域である。よって、認知症の症状を改善するには、その人が生活する地域を改善しなくてはならない。診察室では、脳機能障害群を診断し認知症疾患を同定することはできるが、認知症自体を知ることはできない。認知症自体を知るのは、介護者(施設スタッフを含む)、隣人や担当の福祉スタッフらである。また、現在認知症疾患を根本的に治療しうる方法はなく、認知症治療の中心は介護である。

認知症は脳機能障害が環境に不適合を起こすことで発現する症状である。障害と環境を知らずに症状は理解できない。その人固有の脳機能障害群に関して診断を受けた後、その人の生活する地域にあった介護を創造的に工夫する必要がある。現在、安曇野市で私と一部地域福祉スタッフが取り組み始めた“医学的知識を基礎とした認知症のための地域づくり”の活動を紹介しながら説明していきたい。

***** 精神科分野 *****

「地域の社会資源としての精神科デイケア」

—スタッフの心構え、信頼と自由の尊重— (定員 80名)

講師 坂井 一也 先生 (星城大学リハビリテーション学部)

ある日、デイケアメンバーから「メンバー同士で車に乗って、居酒屋に行ってはいけないのか」、「なぜ車のことも、私生活のことも干渉されなければならないのか」、「病院に迷惑をかけているわけではないのに」と訴えられた。車の運転、同乗、飲酒と3つの課題が考えられた。リハビリテーション、ノーマライゼーション、リカバリーと様々な支援の概念があるが、我々デイケアスタッフは、メンバーを管理しようとしていないだろうか。最近、レジリエンスという言葉が聞くようになった。脆弱性の反対の概念であり、「抗病力」、「回復力」、「自発的治癒力」などと訳されている。デイケアが、スタッフが、デイケアメンバーのレジリエンスを弱めていないだろうか。

精神科デイケアが、地域の社会資源として存在するために必要なスタッフの関わり方を参加者と共に考える研修会にしたい。多くの参加、多くの意見を期待しています。

【日時】 25年10月11日(金) 17:00~19:30

【会場】 キッセイ文化ホール 3F 第1会議室(精神科分野)・第2会議室(高齢者分野)

【参加費】 会員 2,000円 非会員 4,000円

下記口座に9月20日までに、お振り込みください。定員になり次第締め切りとなります。「参加を希望する分野、氏名、住所、電話番号」を必ず明記して下さい。

郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号 00170-8-167337

お振り込み(入金確認)をもって参加登録終了となり、後日参加証を郵送致します。
尚、返金はいたしかねますのでご了承下さい。

【お問い合わせ】

日本デイケア学会事務局 TEL 03-3813-6368 FAX 03-3813-6368

お申込みは裏面に記入の上、9/20(金)までにFAXにてお願いいたします。

***** 研修会参加申し込み *****

日本デイケア学会事務局 行 FAX: 03-3813-6368 9月20日(金) 締切り

10月11日(金)の(高齢者分野 ・ 精神科分野)の研修会に申し込みます。
※上記希望する分野に○をしてください。

フリガナ _____

氏 名 _____ 所属 _____

参加証郵送先住所 所属先 自宅 (いずれかにし印を入れてください)

〒 _____

※郵送先が所属の場合で上記所属と異なる場合は所属先まで記入してください。

連絡先(電話) _____

※日中連絡のとれる番号をお願いします。

振込名 _____

※振込名が上記参加氏名と異なる場合は振込名を記入してください。

日本デイケア学会(該当する方に○をしてください)

(会員 ・ 非会員)